

広報 ぬまた

8
月号

2012.8.9 No.561



7月14日（土）短編映画「ユキモノガタリ」凱旋上映会

今月の主な内容

- ★ユキモノガタリ上映会・2
- ★小中一貫教育懇談会・・・4
- ★輝けゆき10周年・・・9
- ★まちのニュース・・・10
- ★ふれあいINFO・・・18
- ★沼田消防から（消報）・20
- ★沼田警察署から・・・21
- ★生涯学習ゆめっくる・・・22
- ★図書館から・・・23

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



北海道沼田町
フェイスブック公式ページ
facebook

大盛況！完成の喜びを分かち合う！



短編映画「ユキモノガタリ」凱旋上映会



少し緊張した面持ちで挨拶をする「ゆきものがかり」の山田昌希代表。

第4回沖縄国際映画祭の地域発信型映画として本年2月にオール沼田ロケで撮影が行われ、3月に同映画祭で上映された「ユキモノガタリ」(田川貴一監督)の凱旋上映会が、7月14日(土)、町民会館で行われ、出演したお笑い芸人ペナルティのワッキーこと脇田寧人さんや主演女優の森カンナさんらが駆け付け、映画の完成を町民と喜び合いました。

13時からの第1回公演と、16時30分からの第2回公演で合わせて約千人が会場に訪れ、両公演とも2階席まで人が入るほどの状態になりました。

上映会開会の際に、「ユキモノガタリ」の題材となったまちづくりグループ「ゆきものがかり」の山田昌希代表が「この映画はゆきものがかりの普段の生活を映画にしても良かったです。若者が頑張って沼田を盛り上げようとしている姿を、ぜひご覧ください」と挨拶。

沼田町を紹介したVTRが上映された後、映画の上映がスタート。映画の内容は人口約3600人の豪雪の町に移住した役場の新人女性が、ゆきものがかりでの特産品開発を通じて自分の居場所を見

つけるというもの。

約30分の映画上映後に、出演者の舞台挨拶が行われました。

ワッキーさんは「沼田は雪が多くて、寒い日にはマイナス20℃まで冷えました。僕も釧路出身だけど、釧路もここまで寒くはならない。でも、町の人たちがとても暖かくて、最高の3日間になった。映画は田川監督の『地域を大切に、沼田の人をたくさん出したい』という思いがいっぱい詰まった作品になりました。映画の撮影1ヶ月前まで何も決まっていなかったからどうなるかと思っていた(笑)。今度はぜひ夜高あんどん祭りの時に来て、間近でぶつかり合いを観たいです。僕はコンビなので、ペナルティとして漫才やコントを沼



1階フロアに用意した席は両公演とも満席になりました！



この日の為に商工会あんどん連が作成したあんどん。ステージに花を添えました。

田町でやってみよう。3年に1回は沼田に來たいので、仕事をください(笑)」と、冗談を交えながら話していました。

森カンナさんは「沼田のチーム力に驚きました。沼田町の人たちはみんな役者なのかと思うくらいエキストラの芝居が上手で、本番でアドリブを入れたりして、芝居がナチュラルでした。沖縄映画祭の時も沼田町の人たちと一緒に行動したけど、なぜあんなに堂々としていられるのか不思議に思いました(笑)。今回この上映会でまた沼田町を訪れましたが、緑が凄く多くて2月の時と違う印象を持ちました。今日は色々な世代の人が来てくれて、どういう風に受け取ってもらえるか不安だったけど、喜んでもらえてよかったです。沼田町の人たちと力を合わせて作ったこの映画で、沼田が活性化してくれると嬉しい。沼田町は素敵な町なので、子供たちにも自信を持ってほしい。ぜひ、夜高あんどん祭りにも遊びに來たい」と

思いを語っていました。監督の田川貴一さんは「この映画のプロジェクトが動き出してからまだ半年ぐらいし



主演の森カンナさん、ワッキーさんと映画の主人公のモデルになった小木明日美さん

か経っていない。映画の完成が間に合って本当に良かった。森さん以外の役者陣は、映画が初めての人たちがかりで、他の出演者は町民の方。正直すごく心配だったけど、なんとかまともだった。本当に過酷な現場だったけど、撮影を終えて、沼田町という家族の一員になれた様な気がして本当に良かった」と撮影を振り返っていました。

映画上映後は、吉本興業所属の芸人によるお笑いライブが開催され、映画にも出演した沼田町出身のピグマリオンやクマップをはじめ、モリマンやスピーカーズがネタを披露し、会場を大いに沸かせていました。

この映画を観るために苦小牧市から駆け付けたという男性の方は「とても面白かった。最後のエンドロールで流れた映画の主題歌が、内容ととても合っていて、感動してジーンときた」と映画を鑑賞した感想を語っていました。



町民会館前には天然雪で作られた雪だるまが置かれました。



映画にも出演したクマップさん。得意のモノマネやボイスパーカッションで会場を沸かせました。



上映終了後、映画の中に出てきた「雪んこ焼き」は飛ぶように売れていました。



舞台挨拶の司会役も引き受けていたスピーカーズの2人。ネタ中の「クサイセリフ」に会場がどよめく瞬間も。



体を張った芸で爆笑を誘ったモリマンの2人。ライブならではのネタで会場は笑いの渦に。



凱旋ライブの沼田町出身のピグマリオンの2人。同級生ならではの息の合った漫才を披露。

これからの沼田町の教育の現場を考える

小中一貫教育懇談会

6月27日（水）、役場町長室において『小中一貫教育懇談会』が行われました。

この懇談会は、小中一貫教育を先進的に行っている地域を視察した沼田中学校の田畑直先生と、沼田小学校の吾子菊代先生、教育総合アドバイザーの本庄修さん、生沼教育長の話伺いました。



視察先 埼玉県八潮市教育委員会
福島県郡山市立湖南小中学校

町長「一貫教育については、教育の方向にしたいということで、平成7年から取り組んでいて、平成15年から視察に行ったりとか、過去には、アンケートや実態調査も実施しましたが、昨年からなんとか一貫教育を進めるために予算や体制を整えているという状態なんです。そんなことも考えて今回視察した中身について簡単にお話を伺えればと思っておりますので、今回印象的な事があればお願いします」

田畑「一つはそれぞれの学校の組織がしっかりしているなっていうことなんです。地域の組織がしっかりしているの沼田に合う組織が作れたらいいなって思いました。印象を受けたことの一つはやっぱり、八潮市では二千数百万っていうお金をかけてるというところと、もう一つは中学校の方で湖南ですね。中学校の教員が、小学校の授業を教えるということを行っていました」

町長「それは、郡山市の方針なんですか？」

田畑「そのようです。その事で小中で余裕が生まれるという事でやっているって伺いました」

町長「湖南小中学校は、職員室が一つだから出来るって言うことですか？」

ね。そういう学校にしたいということとで郡山市の教育委員会がそういう風になっているんだろうな。それでは吾子先生お願いします」

吾子「私はどちらかというと湖南小中学校の校舎がまず素晴らしいと感じました。沼田と同じで1町1校のしかも一学級と小さい少人数の規模の学校なので、どうしても競い合いが少なくて、小さい時からの付き合いの中でいくから、喋らなくてもやっていけるような子供たちに、その学校と委員会と地域がいかに表現力をつけるかということを中心に聞いていました」

町長「子供の表現力？」

吾子「そうです。自分で主張することとか、そこを大重点においてすべてのことを組み立てたお話がすごく印象に残っていて、校舎一つ作るにもその具体例でいえば音楽室。音楽室の後ろの壁を上げればホールになって全体を見渡せるようになってくるんですが、他の教科の教室が、パソコン室でも図書室でも小中それぞれに用意されているのに、音楽室だけは一つになっていて小中の子供達が自然に触れ合うようにわざわざ音楽室を校舎の端に作って、小学校の校舎の部分で中学生が必ず通って

くようにしてあるとか、そこまで考えて校舎も作りいろんな事を組み立ててるんだなというところが一番でした。もうひとつ地域性のところで、湖南も昔からのいろんな地域性が残っている地域だという事で、語り部の部屋という部屋を作っているということも素晴らしいと思っただけです。それをきちんと活用して、その地域の方に総合の時間に来てもらって地域の話聞く時間があったりとか、一緒に活動する時間があったりとか、あと地域との交流をものすごく密に組み立てていて。地域との交流って一言で言ってもすごく大変なことだと思っんですね」

町長「先生の負担も大変ですものね」
吾子「来てもらう人とのやり取りとか、事業もお任せすることになったり配慮することがあったりとか、謝礼とか細かく言えば色んなことが問題になると思うんですけど、でもそこを全部クリアしてやっていけると、また、子供たちの学力も大事ですけども、湖南にも高校があるから、

全員が他所に出てしまっっては困るんだという意識があるんです。湖南に残ってその高校に入ってほしいと思っっている。だから沼田高校があった時のことを思い出したんですけども、そこに残って地域に根ざす子供たちも大事なんだよっていう、学力の面だけじゃなくて人間性とか地域性をしっかりとふまえて教育方針を教育委員会も学校自体も地域の人も一体となって進めているところがすごく素敵だなと思っと思ってききました」



町長「地域の人の協力と思入れも

すごいんですよ」

吾子「すごい思い入れがあるんだろうなと思いました」

町長「そうなんですよ」

吾子「沼田でもやってもらっていいですが、バスの乗車の時などにも地域の人達に立ってもらっていただいていますよね、そこもバス停ごとにもんな立っていたりとか、そういうところもやっぱり全部やってもらっているって話を聞いたので、地域の子供を育てようとか見守ろうという気持ちも伝わってくるので、私は湖南小中学校の授業の中身もいいなと思っただけですけど、協力関係がすごくいいなと思っました」

町長「なるほどね。沼田でも地域との繋がりはあるんですよ？地域の方の考え方も昔よりは変わったのでしょうか？」

吾子「はい。今はメロン栽培や米作りなど色んな事で10年くらい地域との繋がりがあります」

町長「湖南のようにもって地域の人が学校に関わると、受け入れる学校

の先生たちの対応も大変になりますよね」

吾子「カリキュラムとか色んなものが変わってきているので、『こんなのやってみない？』『あーいいね』と言うことが、昔より辛くはなってきたのかなっていう風に思います」

町長「そうですね。学校の時間自体もタイトになってきていて、時間も余裕が無いから、郷土の学習なんかも入れるなんてのは難しいってことでしょ。湖南小中学校は学力の問題は特に心配されることは無かったですか？」

田畑「学力を上げたいということで取り組みをされているっていうことでした」

町長「実際としてはどうなの？」

吾子「上がっているそうです」

町長「特に不登校とかいじめが発生しているとか、そういう事とかは無いのですか？」

田畑「もともと不登校を解決したいという事で一貫教育を始めたそうです」

田畑先生 「先進地の印象は、学校や地域の組織がしっかりと
ている」という印象。沼田に合う組織が作れたらいいと思う」

吾子先生 「人間性や地域性をふまえて、教育委員会や学校、地域の人が一体となって教育方針を進めているのが素敵だった」



町長 「地区の人口も沼田町と同じくらいですね。湖南地区の人口は何人くらいなんでしょうか」

本庄 「4千人くらいだそうです」

町長 「一貫教育の9年間はどういう風に分けているんですか？」

本庄 「6・3制です」

田畑 「八潮は4・3・2です」

本庄 「中一ギャップっていう背景がそれが原因で、一つそれも解消しようとしたそうです」

本庄 「中学3年生までの不登校が多くて、それが非常に困っているという事で解決する一つの手段として、一貫教育を手法として取り入れたそうです。結果、平成18年くらいに一貫教育を入れてるんですけども、不登校も減ってきているし、成績も上がってきているという、両方いい結果がでてます」

町長 「長い取り組みなんですね」

町長 「ところで、湖南小中学校はうちと小中学校の生徒人数そんなに変わらないですよ」

本庄 「本当に似ています」

町長 「地域の人口も沼田町と同じくらいですね。湖南地区の人口は何人くらいなんでしょうか」

本庄 「4千人くらいだそうです」

町長 「一貫教育の9年間はどういう風に分けているんですか？」

本庄 「6・3制です」

田畑 「八潮は4・3・2です」

本庄 「中一ギャップっていう背景がそれが原因で、一つそれも解消しようとしたそうです」

教育長 「湖南はもう小学校中学校一体になってるので、ギャップっていうのが起きない環境なんです」

町長 「そうなんですよね。地域一体の高校があるってことで地域に残る子供が増えてくるし、地域の子供を育てるっていうことですよ」

吾子 「そうですね。だから学力を向上させて、全員いい学校へって事ではなく、地元のこと大切にする子供をきちんと育てようという意識があるとのことですよ」

町長 「地域全体の民力があがれば地域が豊かになるわけですよ。地域で

そういった子供を育てることが将来的に10年後20年後に地域が豊かになる。地域に関心をもって地域でなんとか生きていこうという人が増えれば、沼田にも子供が増えていくかも知れない。沼田町にも昔、地域の人と学校を結びつけるコーデイネーター制度がありましたよね？」

本庄 「今でも生涯学習のコーデイネーターがあります」

町長 「それを学校の先生がやると公務の中で大変じゃないですか。例えば先生が沼田にぼつんと来た時に地域の状況がわからず、誰と話しているか分からない時に、コーデイネーターの方が間に入って色々人探しをして学校の授業に出てもらおうというのが昔あったと思っただけです」

本庄 「人材バンクがあるので、社会教育でどこに人材があるかというのを押さえてますから、ご要望があれば派遣できるんですが」

町長 「これを先生がやるとなると大変だもんね」

田畑 「そういう仕組みがあると助かります」

町長 「そうですね」

本庄 「例えば沼田町に健康運動指導士が入ってから、学校にも来てもらったりしていますが、そういう色々な情報が入れば学校で必要とする場面でもっと連携していきたいと思います」

教育長 「指導してもらったら子供たちは、指導を受けたことで全然変わったと聞きました」

町長 「知識のある職員もそうだけでも、上手に人材を使えばいい訳だから、それを学校側が受け入れる体制があるかないか、あるんだったら前向き論で行けばいいと思う」

本庄 「先生方も子供を指導するときの色んないいヒントを得ていて、あのやり方をやったら子供たちがこういう風になるんだなっていうのを、先生方も多分勉強になってるんじゃないかなって思う」

町長 「そうですね。まあ地域の色々な人材をうまく使っていくことが勉

強になるんだろうね。それを地域の

お年寄りとか、さっき言ってたコー

ディネーターの方がいいね」

吾子「PTAの方々だと一番忙しい

時期なので、仕事で忙しいし、更に

それもしてとなると大変な事になる

かなって思います」

町長「だから新しい小学校でどう

やって地域にオープンするかだと思

うんだけど。そういう面で湖南小学

校は、地域と一体になって子供の学

力や表現力とか、そういったことに

取り組もうとしているんだから、そ

れはそれですばらしいと思うけど

ね。本庄さん何かありませんか？」

本庄「今、先進地は素晴らしくなっ

てますけども、素晴らしくなるため

にはそれなりの苦勞もあったそうで

す。また、教育委員会で説明してく

れた全員が教職員上がりの職員で6

人7人いました」

町長「なんでそんなにいるの？」

本庄「一貫教育推進室と言うのが

あって、そこに所属しているんです」

教育長「そのメンバーは、教育委員

会の職員になっているそうです」

町長「教育委員会の職員いないの？」

教育長「事務方は一人だけで、あと

は皆先生です」

本庄「そういうシステムだから教育

長も元教員なんです。それから郡山

市の委員会には今回行っていないん

ですけども、湖南小学校の3人の前

校長も全員教育委員会にいらっしや

るんです」

町長「だからそういう人たちは人材

をうまく使っているんだ」

教育長「教育現場と行政の連携交流

をやっているとのことです」

町長「北海道とは全くシステムが違

いますね」

本庄「我々に八潮の一貫教育を説明

してくれた人も『僕は3年前までこ

れに猛反対していた人間です』と

言って、今なぜ猛反対していた人が

こうやっているかという、実は一

貫教育という手法で町の教育自体が

すごく活性化して動き出していて、

色んな部会に分かれて学力向上のた

めには何をやってたらいいか、先生方

が考えてこれをやろうということに

なって動いてますし、保護者に対し

ても、教育委員会の方で報告用のパ

ンフを作って、毎年配っているそう

です」

町長「役場職員じゃ限界があります

よね」

教育長「限界ありますね。今回、一

貫教育基本計画を見直したんです

が、その作業だって、我々行政側の

職員だけでやろうとしていたら限界

があるので藤森先生や長野先生とか

の協力をもらって出来たんです。学

校現場での経験や専門知識に欠ける

我々行政側だけでは、新しいものを

形作っていけない」

本庄「昨日も一貫教育の会議をやっ

たんですけども、私たちも一番感じ

ているのは、小学校と中学校の先生

がお互いを知らないもので、先ずそ

から始めようっていう事で始めてま

す」

町長「昔は、互いの授業公開日だと

かで行き来してましたよね」

吾子「それこそ昨日一貫教育の会議

で部会の中で検討しましたよという

話にはなっているんで、少しずつ

進んで行くんじゃないかなと思います

す」

町長「難しい話だとは思いますが

でも、一貫教育の可能性はどうで

かね？沼田における可能性ってどん

なことが広がって行くのか。これか

らの進め方で何かありますか？」

吾子「沼田の小さい規模で、生まれ

たときから回りの人がこの子どこの

家の子って知っているような中で

育っていくので、幼稚園も小学校も

中学校もどの先生も今受け持ってい

教育長「湖南は小学校と中学校が一体なので、進学の際のギヤップが起きない環境だそうです」



町長 「同じ20人がずっと一緒にいることのプラスの面を出すことも必要なのかもしれない。父兄がそう思ってくれれば、地域や学校、先生も変わると思う」

る子の将来って考えて、この子供が今やっている事が将来どうなっていくのか。今までどんな事をしてきたのかっていう事がきちんとバトンパスして進んでいけるような連携が出来る一貫教育であってほしいなと思っています」

町長 「中には、子供が交流が無いとか、中学卒業まで同じ20人であることがマイナスって思っている父兄もいるんですよ。競争が無いとか。だから先生がおっしゃっていたプラスの面を出すような事も必要なかも知れないですね」

吾子 「せっかくなのにもったいないですよ」

町長 「そうそう。もったいないんですよ。だから同じ20人であることがもっと良いことになるような考え方、父兄がそういう事を思ってくれば、地域が変わり、学校も先生も変わっていくと思うんだけど。そのためにも沼田はこうだったという、沼

田の教育のスタイルをきちんと作ることです。

全体の地域の教育力をどうやって上げるかは、一つの小中一貫教育を切り口にやっていくと地域が変わっていくのかなっていう思いもしていますので、今回はとても勉強になりました。ありがとうございました」



「沼田町一貫・連携教育」これまでの動き

平成7年6月

- ・沼田町一貫教育検討委員会を設置し諮問を行う

平成8年5月

- ・検討委員会より「沼田町幼少中高一貫教育推進計画」が答申される

平成8年7月

- ・「沼田町一貫教育推進協議会」設立
- ・「沼田町一貫教育委員会」設置

平成8年10月

- ・推進委員会において「沼田町幼小中高一貫教育療育別推進表」を作成

平成15年12月

- ・「沼田町一貫（連携）教育の推進計画」を見直す

平成16年2月

- ・「沼田町一貫教育推進委員会」の組織を見直す
- ・部会の設置

平成18年12月

- ・小4から高3までの、生活実態調査アンケート実施

平成22年3月

- ・「沼田町一貫（連携）教育の基本計画」を見直す

平成24年3月

- ・「沼田町一貫・連携教育の基本計画」を見直す



「輝け雪のまち宣言」から10周年！ 輝け雪まち宣言10周年記念行事が行われました！

平成14年に雪と共生するまちづくりを目指す「輝け雪のまち宣言」をした沼田町。その10周年を記念して記念行事が行われました。

沼田幼稚園児が真夏の雪遊び！

7月19日（木）、子どもたちにさらに雪に親しんでもらおうと、沼田幼稚園前にある町民会館駐車場に雪が運び込まれ、幼稚園児が真夏に雪と触れ合いました。

今回用意された雪はおよそ8トン。園児は「つめたーい！」と絶叫しながらも思い思いに雪山に上ったり、雪玉を作って投げ合ったりと、暑い夏の雪を楽しんでいました。

また、子どもたちには町の雪のマスコットキャラクターであるスノンちゃんとピカゾーがプリントされた名前入りの缶バッジが配られ、園児たちは雪と缶バッジに、無邪気にはしゃいでいました。



10年間雪で保存したお米の試食会！

7月21日（土）の夕方には、ほたる祭りで賑わうほろしん温泉ほたる館のロビーで、これまでの雪の取り組みを紹介したパネルや簡易型雪冷房3台の設置、「雪の科学館」で保管されている天然雪が展示されました。

中でも注目のは、「雪の科学館」で平成14年から雪の冷気で保存されていた沼田町産のお米の試食会。訪れた人たちに一口大のおにぎりにして試食をしてもらいました。

札幌からほたる観賞に訪れたという札幌市在住の女性の方は「美味しかった。10年前のお米と比べていたが、全然そんな感じがしなかった」と、雪で貯蔵したお米の感想を話していました。



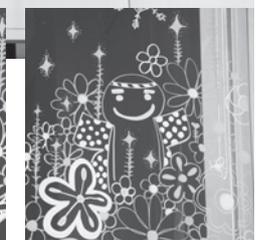
役場庁舎にカラフルなイラストが登場！

役場庁舎2階町民談話室のガラスに、色鮮やかなイラストが描かれました。

外から町民談話室を見ると「雪がまちを幸せにする！祝宣言10周年」とガラスに大きく書かれており、その下にはカラフルな花や雪の結晶、よく見ると雪なごりや雪中米、雪んこ焼きなどのイラストも描かれています。

このイラストを描いたのは、現在、沼田町観光協会の事務局に勤務する沼田祐輔さんで、沼田さんは山形県にある東北芸術工科大学の美術学部で絵の勉強をしていました。

役場にお立ち寄りの際は、ぜひご覧に下さい。



まちのニュース

Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、そちらもご利用下さい。

暴力団を排除するため連携！

暴力団等の排除に関する合意書調印式

6月29日（金）、沼田警察署で「暴力団等の排除に関する合意書」の沼田町と沼田警察署との間で調印式が行われました。

この合意書は、町が契約する公共工事などから暴力団を排除するため役場と警察が連絡を取り合うことを盛り込んだ内容で、道警旭川方面本部管内では初めての事です。

この日は、北竜町も合わせて調印を行い、天野署長、金平町長、佐野北竜町長が出席し固い握手を交わしました。



あたたかいご飯おいしいね♪

沼田小学校でイベント炊飯

昨年度設置されていた沼田町米飯給食検討委員会（馬狩良光委員長）の答申について、教育委員会として「イベント炊飯」を実施していきたいという考え方から、7月5日（木）沼田小学校でPTAの協力のもとイベント炊飯が行われました。

初回は小学校1年生を対象に行われ、午前中PTAの役員4名が2升炊きの炊飯器2台で5kgの沼田町雪中米を炊き、多目的教室のテーブルで児童24名、保護者24名、先生2名の合わせて50名が、ミートボールスープカレーや切干だいこんのサラダをおかずにあたたかいご飯を食べました。

子供達は「ご飯おいしい！」とおかわりをする児童もいて、はじめてのイベント炊飯を楽しみました。なお、このイベント炊飯は各学年で年2回程度実施される予定で、沼田中学校でも行われます。



136名がマイペースに楽しむ！

第11回沼田町長杯争奪パークゴルフ大会

7月5日（木）、今年で第11回目となる沼田町長杯争奪パークゴルフ大会が町民パークゴルフ場で開催されました。

絶好のパークゴルフ日和となった大会当日。開会式の挨拶で神意彦副町長が「熱中症に気を付け、水分を多く取ってケガのないようにプレーして下さい」と参加者に呼び掛けました。

大会には136名のパークゴルフ愛好家が参加。遠くは長沼町からも参加者が駆け付けていました。

参加者はそれぞれのペースでパークゴルフを楽しみながら、優勝賞品の「ほろしん温泉ほたる館のギフト券・雪中米5kg」などを巡って静かに火花を散らしていました。



第11回沼田町長杯争奪パークゴルフ大会結果

男子Aフライト

- ・1位 五十嵐 彰（岩見沢市） 98打
- ・2位 中野 宏秋（沼田町） 100打
- ・3位 本間 春美（歌志内市） 101打

男子Bフライト

- ・1位 兔本 俊秋（深川市） 113打
- ・2位 加藤 新吉（深川市） 113打
- ・3位 瀧辺 外美（留萌市） 113打

女子Aフライト

- ・1位 竹田 末子（岩見沢市） 101打
- ・2位 大上 芳子（滝川市） 104打
- ・3位 覚元 栄子（奈井江町） 106打

女子Bフライト

- ・1位 北本 民子（長沼町） 115打
- ・2位 山本 初恵（砂川市） 115打
- ・3位 池畑 幸子（長沼町） 115打

※打数が同数の場合はカウントバック（メイプル方式）で順位を決定。

景観保全で社会貢献！

北央道路工業(株)が明日萌街道の草刈り



7月6日（金）、北央道路工業株式会社（澤口二郎代表取締役社長）が幌新地区の明日萌街道の草刈りボランティアを行いました。

北央道路工業は、毎年ほろしん温泉ほたる館で開催されている「ほたる祭り」に合わせて明日萌街道の草刈りボランティアを実施しており、今年で5回目を数えます。

作業は3.8kmの道のりを作業員など18名で行い、草刈り機を使用して見る見るうちに雑草が刈り取られていました。

自ら作業に当たった澤口代表取締役は「7月14日から開催されるほたる祭りに訪れる観光客の方が、今回の草刈りで綺麗になった景観を見ながら気持ち良く温泉に訪れてくれれば」と語り、作業に汗を流していました。



日頃の訓練の成果を発揮！

沼田消防演習

消防職団員の士気高揚と併せて地域住民の防火思想の普及向上を目的に、7月10日（火）、役場前駐車場で沼田町の消防団員が100名以上参加して消防演習が行われました。

冒頭、総監である金平町長から「町民を守るため日々活動している消防団員に感謝しています」との挨拶の後、規律訓練やポンプ操法訓練など、きびきびした動きで日頃の訓練の成果を披露しました。



雨竜川で楽しく学ぼう！

水辺の楽校（がっこう）

夏日となった7月11日（水）、雨竜川の河川敷で「水辺の楽校（がっこう）」が開催されました。

水辺の楽校は、札幌開発建設部滝川河川事務所の出前講座で毎年この時期に開催されており、沼田小学校4年生の児童20名が総合学習の一環として参加しました。

児童たちは2班に分かれて、ライフジャケットを着用して川に入り、川の中を歩き回って流れの速さや川の深さを体験したり、たも網を使って雨竜川に住む魚や水生昆虫を捕まえたり、川辺に生息する「イタドリ」という植物を使って水鉄砲を作るなど、様々な体験を行っていました。

出来上がった水鉄砲で水をかけ合ったり、自ら川に飛び込んでずぶ濡れになったりと、児童たちは暑い日に冷たい川の水を思いっきり満喫している様子でした。





町のプライドをかけて優勝杯を争う！

第10回空知地区老人クラブ連合会町対抗パークゴルフ沼田大会

生憎の曇り空となってしまった7月13日（金）、沼田町民パークゴルフ場において「第10回空知地区老人クラブ連合会町対抗パークゴルフ沼田大会」が開かれ、空知管内の14町から112名の参加者が集まりました。

この大会は、高齢者の健康維持と友好・親睦を図り、安全で楽しく行える軽スポーツを通じて生きがい向上に努めることを目的に、空知地区老人クラブ連合会（小田桐 実会長・奈井江町）と開催地の老人クラブ連合会で主催して行われています。



開会式で昨年度優勝の奈井江町チームから優勝杯が返還され、開催地の沼田町から北井君雄さんと筒井照子さんから選手宣誓が行った後、大会がスタート。参加者たちは組ごとに思い思いのペースで進み、普段なかなか

話す事のない他町のパークゴルフ愛好家たちと話しに花を咲かせながらパークゴルフを楽しんでいる様子でした。

第10回空知地区老人クラブ連合会町対抗パークゴルフ沼田大会結果

団体総合順位

- 1位 奈井江町 (865 打)
- 2位 長沼町 (894 打)
- 3位 秩父別町 (901 打)

男性順位

- 1位 川口 進 (奈井江町) 97 打
- 2位 高尾 昇 (秩父別町) 99 打
- 3位 青柳 利雄 (奈井江町) 103 打

女性順位

- 1位 高島 栄子 (奈井江町) 101 打
- 2位 藤田 弘子 (長沼町) 103 打
- 3位 三原 チヤ (栗山町) 105 打

色々な体験が目白押し！

親子農業体験イン沼田

7月14日（土）～15日（日）の2日間で、町や札幌の消費者団体「アグリション21（小田たず子代表）」など他5団体が共催して「親子農業体験イン沼田」が行われました。

「親子農業体験イン沼田」は、今年で8回目となる事業で、今年は札幌市から12組の親子が参加しました。

町健康福祉総合センターふれあいで行われた開会式で、金平町長は「お米はどこで、誰が作っているのかをしっかりと見て、農家の人たちといっぱい話してください。2日間楽しんでいってください」と、参加者たちに挨拶しました。

田んぼの生き物や植物について学んだあと、いよいよ実際に田んぼに入って行う除草体験を実施。参加者は足にビニールカバーをつけて田んぼに入り、ゆっくりと慎重に動いていました。中には転んで泥だらけになる子どももいましたが、農家の方の手を借りて、楽しそうに田んぼの感触を確かめていました。



他にも、プチトマト収穫体験など様々な体験を参加者は満喫し、滅多に出来ない農業体験を笑顔で楽しんでいました。

交通安全ゼロからのスタート！ 交通安全街頭啓発運動



夏の行楽期を迎え、沼田町交通安全協会（木谷克巳会長）と沼田警察署員が7月16日（月・祝）ほたる館前で交通安全の啓発運動を行いました。

沼田町は、7月8日に町内の道道でバイクによる単独死亡事故が発生し、交通事故死ゼロの記録が4,758日でストップしてしまいましたが、木谷会長は「町民の交通安全に関する意識はすごく高い。交通事故死ゼロの記録はストップしてしまっただが、また気を引き締めてゼロからのスタートでがんばっていきたい」と語りました。

また、7月19日から28日までの期間で夏の交通安全運動が行われ、それに合わせて町でも、ドライバーに交通安全を心がけてもらおうと、沼田小学校前の国道275号線沿いで、交通安全旗の波運動が実施されました。

旗の波運動には、町長生クラブ22名、沼田保育園の園児32名も参加し、道を挟んで二手に分かれて、ドライバーに交通安全啓発チラシやスポーツドリンクを手渡しました。園児がドライバーに「気を付けてね！」と声をかけると、ドライバーも「はい！」と笑顔で答えていました。

旗の波運動には沼田警察署の天野正輝署長や神憲彦副町長も参加し、先頭に立ってドライバーに交通安全を呼びかけ、沼田町の交通安全への熱い思いが感じられる街頭啓発となりました。



今後どうやって町をアピールする？

(株)地域活性プランニングによるワークショップ



7月18日（水）、(株)地域活性プランニングの藤崎慎一代表取締役を講師としたワークショップが行われ、沼田町のまちおこしグループ「ゆきものがかり」のメンバーや、今年2月に台湾へ雪中米のPRへ出向き「和風あんかけおこげ（仮名）」などのメニューを創作した商工会女性部やJA北いぶき女性部沼田支部の方が集まりました。

このワークショップは、吉住淳男商工会長が「地域で何か出来ないか？」と藤崎氏に相談し、3年前から実施されています。それから藤崎氏の指導などを受け、「ゆきものがかり」の結成や、2月にロケが行われた地域発信型映画「ユキモノガタリ」のロケ支援、雪夏祭や特産品開発など、様々な事業

を展開してきました。

今回のワークショップで藤崎氏はスライドや映像などを流しながら、他市町村のまちおこしの事例を紹介。沼田町についても「映画ロケの受入れが無事に終わってこれからどうするのか？」「雪夏祭は今後どうしていくのか？」など、参加者に具体的な質問を投げかけながら話を進めていき、全員真剣な表情で聞き入っていました。

また、ワークショップに合わせて「ロケーションジャパン」という雑誌の取材も合わせて行われ、滅多にない取材対応に慣れない様子で対応していました。この取材の様子は、9月15日（土）発売の「ロケーションジャパン10月号」に掲載されます。

多くの来場者で賑わう！

第 25 回和風園夏祭り

7月21日（土）、町養護老人ホーム和風園（橋英則園長）で第25回和風園夏祭りが開催され、多くの来場者で賑わいました。

この夏祭りは和風園では毎年恒例となっている行事で、施設職員はもちろんのこと、旭町町内会や隣にある町特別養護老人ホーム旭寿園の職員、役場青年女性部など多くのボランティアが運営に携わっています。

今年は施設利用者の家族など約250名が駆け付け、会場に並んだおでん串やかぼちゃ団子などの屋台に行列が出来ていました。

会場のステージでは、和風園内のカラオケクラブのメンバーや施設利用者の家族がカラオケを歌い美声を響かせ、夏祭りは賑わいをみせていました。



全道から老人クラブ女性会員が集結！

平成 24 年度全道女性・健康づくりリーダー研修会

7月24日（火）、ほろしん温泉ほたる館で「平成24年度全道女性・健康づくりリーダー研修会」が開催されました。

この研修会は、平成14年から北海道老人クラブ連合会（神野修会長）と開催地の老人クラブ連合会が主催して行っており、毎年全道4カ所で開催されており、沼田町が開催地となるのは今回が初めてです。

この日は各市町村の老人クラブ連合会に所属する女性や事務局員など約110名が参加。遠くは中札内村から研修会に駆け付けていました。

研修会は午前10時から開始し、沼田町と深川市の老人クラブ連合会の代表者が活動について報告する事例発表や、全国老人クラブ連合会がオリジナルで作成している「いきいきクラブ体操」、「子育て支援活動の推進」など4つのテーマに分かれて話し合いが行われた分散会、公益社団法人北海道栄養士会から講師を招いての講義など、充実した内容の研修が行われ、参加者も真剣な表情で研修会に臨んでいました。



2年連続インターハイ出場！

松井誠浩さんを町と体育協会が激励

東予在住の松井誠浩さん（深川西高校3年）が、昨年に続き陸上競技の八種競技で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場権を得ました。松井さんは中学生時代に四種目競技で2年連続全道大会に出場しており、昨年は八種競技でインターハイに出場しましたが、惜しくも入賞は果たせませんでした。

7月25日（水）に役場を訪れた松井さんは、沼田町と町体育協会から激励を受けました。生沼教育長は「今年で最後だと思いが悔いの残らないように頑張ってください！」と言葉をかけ、松井さんの家の隣近所という中村保夫副会長も「頑張ってください」とエール送っていました。

松井さんは「去年のインターハイでは思ったような結果が残せなくて悔しい思いをした。今年はそんな事がないように、先生やコーチに恩返し出来るような記録を残したい」と決意を語っていました。





B&G 海洋体験セミナー参加

塩田銀巳くんが沖縄出発前に教育長へ挨拶に来庁



毎年、B&G 財団が沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して、各地域から集まった青少年を対象に、規律ある集団生活から連帯感・団結心を持って友情を育て、ルールやマナー、礼節などの社会性を学び、海に対する関心と理解を深めてもらおうと開催している「海洋体験セミナー」に、沼田小学校5年生の塩田銀巳くんが参加するため、7月25日（水）、町生涯学習総合センターゆめっくるを訪れ、生沼教育長に挨拶をしました。

町はこのセミナーに沼田っ子が積極的に参加してもらおうと、セミナー参加費用を予算化しており、今年は参加申し込み

みがであった塩田くんが選ばれました。

塩田くんは生沼教育長に「今回の海洋体験セミナーでいろんな地域の人たちと知り合い、仲良くなってルールを守りながら楽しんで生活していきたいと思います」と少し緊張した面持ちで決意を述べました。生沼教育長も「沖縄はきっとすごい暑いし、周りも知らない人ばかりで大変かもしれないけど、しっかり勉強してきてください」と笑顔で話しかけていました。

塩田君は28日に沖縄へ向けて出発し、4泊5日のセミナーで様々な体験をしてきます。

子どもたちの勉強を支援

学習サポート事業「明日萌」



小中学校の子どもたちは夏休みが始まりました。その夏休み中に、子どもたちが自ら学習する習慣付けなどを狙って、町は夏季休業中の学習サポート事業「明日萌」をスタートさせました。

初日となった7月26日（木）、参加申込みのあった小学生約80名が沼田小学校に集合。低学年と高学年で分かれて、それぞれ勉強を開始しました。子どもたちは各自で課題を持ち寄り、どうしてもわからないところは隣の子や教室にいる指導者に聞いて、課題を解決していました。

指導者には町教育委員会の本庄修総合教育アドバイザーや、学校の教員、北翔大学の学生ボランティアや地域おこし協力隊があたり、指導者は子どもたちの勉強のサポートをして、自らが積極的に課題について考えるような環境づくりをしていました。

午後からは中学校でも行われ、参加者約30名は真剣な表情で机に向かっていました。

この事業は、7月26日～8月1日までの平日5日間で行われます。



子どもたちの夏の思い出に…

第 38 回町民いこいの広場

沼田町の夏のイベントとしてお馴染みの「第 38 回町民いこいの広場」が 7 月 26 日（木）～ 27 日（金）の 2 日間で開催されました。

開園式で商工会青年部の松尾敦史部長は「この 2 日間で子どもを対象にしたゲームなどを行います。子どもたちにとってこのイベントが楽しい夏休みの思い出になるように頑張ります」と挨拶。

1 日目は法被を着た保育園児の太鼓演奏や、小中学校のブラスバンドの演奏、お宝まきが行われました。会場に用意された水遊び場では、子どもたちがずぶ濡れになりながらはしゃいでいました。

また、この日は日赤奉仕団が「非常食炊出し訓練体験コーナー」を設け、特殊な袋を使って炊いたお米の試食を行い、食べた人たちは「炊飯ジャーと全然変わらない」と美味しそうに食べていました。

2 日目は天然雪 100 トンを会場に運びこみ、真夏の雪合戦大会が行われました。参加した 7 チームは冷たい雪の上で白熱した戦いを繰り広げました。また、会場には、かまくらも作られ、中はひんやりとした空気で満ちて夏の暑さを忘れるほどでした。

2 日間通じて晴天に恵まれ、子どもたちにとって楽しいひと夏の思い出になりました。



第 38 回サマービールパーティ

新PR隊「夜高あんどん振舞方」お披露目

7 月 28 日（土）、とむとむ広場で商工会青年部が主催する「第 38 回サマービールパーティ」が開催され、約 800 名が会場にかけつけ、暑い夜に冷たいビールを楽しみました。

毎年、このビールパーティで「ミスあんどん」のお披露目をしていましたが、今年から「ミスあんどん」に変わり「夜高あんどん振舞方（ふるまいかた）」が結成され、ステージ上で初お披露目されました。

夜高あんどん振舞方は、夜高あんどん祭りはもちろんのこと、沼田町に関することを PR するために各大型あんどん連から数名選抜されたメンバーで結成されており、振舞方の選抜基準は「沼田町が好きで、あんどんをこよなく愛する方」となっています。

この日は振舞方 9 名のうち 4 名がステージ上で挨拶し「8 月 24 日・25 日の本番に向け、一生懸命 PR していきたい」など、思い思いに決意を語りました。

振舞方のメンバーは以下の通りです（順不同）。

- ・藤村健一（JA 北いぶきあんどん連所属）
- ・長谷有里子（JA 北いぶきあんどん連所属）
- ・平 和昭（沼田自衛隊あんどん連所属）
- ・久本伸生（沼田自衛隊あんどん連所属）
- ・斉藤真二（役場あんどん連所属）
- ・岩淵友美（役場あんどん連所属）
- ・松尾敦史（商工会あんどん連所属）
- ・多田和宏（商工会あんどん連所属）
- ・川嶋 敬（商工会あんどん連所属）



寄贈

ライオンズクラブから

血圧計の寄贈

6月28日(木)、沼田ライオンズクラブ(中澤弘幸会長)から血圧計の寄贈があり、金平町長に目録が手渡されました。

沼田ライオンズクラブは社会奉仕活動の一環として毎年町に役立つ物の寄贈をしております。

今回、寄贈された血圧計は、測定結果を声で知らせてくれる優れもので、町健康福祉総合センターふれあいの1階ラウンジに7月6日(金)に設置されました。健康管理の指標の一つとして、役場に来庁した際にぜひご利用してみたいかがでしょうか？



御祝

沼田長生クラブ

米寿・喜寿・年祝の会

沼田長生クラブ(野道夫会長)の年中行事「米寿・喜寿・年祝の会」が、7月2日(月)ほろしん温泉ほたる館で開催されました。

今回お祝いされるのは13名の方々に、野会長からお祝いの品が贈られ、金平町長から「今後も家にとじ込まないで外に出ることが元気に繋がると思う。先日町内数カ所にベンチを設置したので、それを活用してほしい」と挨拶したあと、米寿喜寿を代表して松野茂雄さん(中央)が「健康に留意し、何かの役にたつていきたい」とお礼の挨拶をしました。

今回お祝いされた方は、次の方々です

- 米寿
 - 上机 栄さん(沼田4)
 - 加葉田 義一さん(旭町東)
 - 山岸 キミエさん(旭町東)
 - 高橋 富美子さん(旭町東)
- 喜寿
 - 松野 茂雄さん(中央)
 - 平田 義枝さん(旭町西)
 - 鶴野 恵子さん(沼田1)
 - 大三島 春雄さん(旭町東)
 - 谷口 早苗さん(市内1北)
 - 石黒 一義さん(市内2)
 - 吉沢 慶子さん(市内3)
 - 中田 初江さん(旭町東)
 - 村木 佐和子さん(緑ヶ丘)



感謝状

松田眞一郎前社会福祉

協議会会長に感謝状

平成15年4月から9年3ヶ月の間、社会福祉協議会会長で地域福祉の発展等に尽力された松田眞一郎さんに7月3日(火)金平町長から感謝状が渡されました。

金平町長から長年のご苦勞に對し感謝の意を述べ、松田さんから「長年みなさまに支えられて、ここまで頑張れた。今後も社会福祉に貢献していきたい」とお礼の挨拶がありました。

寄付

篠田久雄氏より

200万円の寄付

7月12日(木)、平成24年春の叙勲「旭日小綬章」を受章した、市内3に在住する名誉町民で元沼田町長の篠田久雄氏(82)から、町へ200万円の寄付がありました。

篠田氏は「行政に広く使ってほしい」と金平町長へ寄付を手渡しました。



～私の健康が創る「沼田の未来」～ 金平町長の健診結果から学ぶ、特定健診・特定保健指導

特定健診・特定保健指導が始まり、早4年経ちますが、さらに皆さんの生活に役立てていただけるよう、金平町長の健診結果とともに5回シリーズで特定健診・特定保健指導のしくみをご紹介します。今回は2回目、テーマは【運動】です。

目標は立てたけど…自信がない、時間がない、何をしたらいいの？ どのくらいしたらいいの？

みなさんが目標を達成するために、健康運動指導士が生活に合わせた運動を紹介し、健康へのお手伝いをさせていただきます。

前回の広報より、金平町長が立てた目標は2つでした。
メタボリックシンドローム予備軍から脱却のために半年で、

- ①体重－6kg（現在76kg→目標70kg）
- ②腹囲－5cm（現在90cm→目標85cm）

体重1kg減らすと腹囲が1cm減りますので、
6kgの減量を心がけることで目標達成につながります。

運動指導★その①生活時間の見直し

・勤務開始から終了、夕方以降は会議等があり不規則で忙しく、週3～4回、起床後30～60分なら時間がある。

運動指導★その②身体の不安

・膝が痛むことがあり心配である。

運動指導★その③運動に関すること

・体力に自信あり、ジョギングやテニスを実施していたことがある。運動は比較的好きである。

1kgあたり7,000kcalの消費が必要です。
6kg ⇒ 43,000kcal
43,000kcalを6か月(180日)で消費。1日あたりは…

約240kcalの消費が必要!



これらのことより、町長は目標を達成するために、現在の生活に①～④の取り組みをすることを決めました。

- ①できるだけ毎日簡単な体操を行う(90kcal)
- ②週3～4回少し息が弾む位のジョギング30分(280kcal)
- ③ジョギングができない場合、役場まで徒歩で通う(100kcal)
- ④膝痛予防のためのスクワット運動10回

次回は、栄養士による栄養指導内容を掲載します。

今月は姿勢改善のための ★背筋トレーニング★ を紹介します。

うつ伏せから、上半身のみ上げます。
肩を寄せるよう心がけます。



すべての運動は呼吸をしながら行います。
1セット7～10回、1日1～3セットを目安に、自分に合わせてやってみましょう♪

背筋が付くと、

- ①猫背改善⇒立ち姿が美しくなる。
- ②姿勢改善⇒腰痛の予防につながる。

などの効果があります。
夏に向けてキレイな身体を手に入れましょう!

親指を上に向けると、より効果的になります。



この姿勢で3秒保持しましょう。

今、話題の熱中症…その正体は!?

最近テレビなどでよく耳にする**熱中症**ですが、対策は万全でしょうか？
 「若いから」「たくさん水を飲んでいるから」「暑い日は外に出ないから」
 と思っている方がいたら**要注意!!** 熱中症を間違えて理解していると、
 あなたの**命が危ない…!?**



若くても油断禁物！**スポーツ活動**では**筋肉で大量の熱が発生**するため、それだけで熱中症の危険が高くなります。また、**通気性・透湿性の悪い作業着**などで仕事をしている人も注意が必要です。

「熱中症」＝「水分不足？」と認識している人がいますが実は違います。熱中症は、体に備わっている**体内調節機能**が上手く働かなくなり、**熱が体内にこもってしまう**のが原因です。

外に出ないから安全？そんなことはありません！熱中症の**約半数は室内**で起きており、夜間でも多く発生しています。

こんな症状があったら要注意!!

- 軽** → めまい、立ちくらみ、筋肉痛、汗がとまらない…
- 中** → 頭痛、吐き気、体がだるい（倦怠感）、虚脱感…
- 重** → 意識がない、けいれん、高い体温…



熱中症を予防しよう!

こまめな**水分補給**、涼しい**服装**や**帽子**の着用など、体の中の熱を外へ出してクールダウンできるよう心がけましょう。汗をかいた時は、**塩分**の補給も忘れずに。

幼児は体温調節機能が十分発達していないため、特に注意が必要です。また晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は**大人以上に暑い環境**にいます。



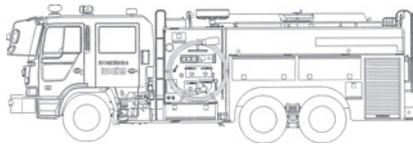
高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、**室内でも熱中症**になることがあります。室内に温度計を置き、**こまめに水分を補給**することを心がけましょう。

睡眠と栄養は予防の基本!

熱中症の発症には、日々の体調が影響します。睡眠や栄養補給が不十分な場合、暑さに対応できません。また肥満気味の方は、脂肪が断熱材のようになり、深部体温が下がりにくくなる心配があります。

汗で失われやすい**ミネラル**や**水分**を含んだ野菜やフルーツを摂ったり、汗をかく機会を増やし暑さに対応できる**体づくり**に努め、熱中症対策をしましょう!

【保健福祉課健康グループ 担当 吉田】



消防報

深山地区消防組合
 深山消防署
 沼田支署予防担当
 TEL 35-2050

夏の事故に要注意！（第2回）

Ⅲ. スズメバチに要注意！

夏になるとハチの動きが活発になります。ハチにはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ、ドロバチ、クマバチ等があり、特に攻撃的で毒性が強く注意を要するのはスズメバチ、アシナガバチです。8月から9月がハチが攻撃的になる危険期間です。



注意点

- ①ハチの巣に近づかない、揺すらない。
- ②ハチに遭遇したら後ろにゆっくり下がりながら逃げる。（ハチからカチカチ音が聞こえたら威嚇警報と思ってそっと逃げる）
- ③一度刺された人は2度目に注意。（アナフィラキシーショック）



Ⅳ. 海水浴場や川で水の事故を防ぐ！

夏のシーズンになると急増する海水浴場、池や川辺といった、水のあるところで起こるさまざまな水難事故。家族旅行で楽しいはずのキャンプやバーベキュー、アウトドアを楽しむままで終わらせられるのかどうかは自分たち次第です。どんなときに水が脅威となるのか知っておき、思い出に残る夏にしましょう。

注意点

- ①水に濡れた服が凶器になる。
- ②お酒を飲んだら泳がない。
- ③離岸流に気をつける。
- ④子供からは目を離さない。
- ⑤遊泳禁止区域には入らない。



9月1日 消防ちびっこ広場開催のお知らせ

9月1日（土）の午後1時から役場前駐車場にて第19回消防ちびっこ広場を開催します（雨天の場合は、2日に順延）。

消防ちびっこ広場は、地震・火災や大雨などによる災害に対し、子供のころから防災に関心を持ってもらうことを目的としています。今年も、体験コーナーや無料緑日コーナーなどたくさんのアトラクションや、豪華景品（消防グッズ）を用意しておりますので、小さなお子様から大人まで多数の方のご来場をお待ちしております。



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場

NumataPolice

TEL 35-3110



タイヤ盗難が連続発生しています！ 注意しましょう！

沼田町内の車庫内から保管しているスタットレスタイヤが盗まれる盗難事件が7月に入り連続発生しています。

タイヤ交換をした後に車庫、物置を確認していないため、被害に遭ってから数日経過してからの届け出もありますので、今一度車庫、物置を確認するようにしましょう。
車庫、物置には確実に施錠をして、被害に遭わないようにしましょう。



怪しいと思ったらすぐに相談を！

投資詐欺にご注意を！

最近、有利な投資があるというダイレクトメールが投函され、その後そのダイレクトメールの中にある融資の権利を譲ってほしいとの電話が、沼田町内の個人住宅に掛かってきています。

手口は『とても優良な会社なので融資をしたいが、今回は北海道居住者限定のものなので、北海道以外の者は融資の権利がないから、是非ともその権利を譲って欲しい』というもので、一般に知られている有名な会社の名前を使ったり、譲渡依頼者は弁護士であるなどと言ったりして信用させる巧妙な手口です。このような電話には騙されないようにしましょう。

また、不審な電話があった場合はその場で安易に約束せずに、家人、知人に相談をしましょう。

沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(6月末現在)

		侵入窃盗	自動車盗	自転車盗	車上・部品狙い	器物損壊	その他	合計
沼田町	平成24年	0	0	0	0	0	1	1
	平成23年	0	0	1	0	1	0	2

「その他」はタイヤ盗です。

交通事故の発生状況

(6月末現在)

人身事故			物損事故	
平成24年	※①	2	平成24年	56
平成23年	※②	1	平成23年	52

人身事故の※①の2件は、信号待ちで停止中の車両に対する追突事故、※②は後退時に停止中の車に対する追突事故です。

物損事故の主な原因のワースト3は、後方不確認のバック事故、ハンドル操作の不適、前方不注視です。

また、高齢者(65歳以上)の物損事故の発生率は21.4%と高くなっています。

※7月8日(日)に沼田町郊外においてバイク単独による交通死亡事故が発生しました。

生活習慣 ゲーム機との付き合い方



生涯
学習

ゆめ
つくる

先月の家庭学習に引き続き、今月のゆめつくるページのテーマは「生活習慣」です。
ゲームで無制限に遊んでいると、「人間関係をつくる力や他人を思いやる心が育たない」「仮想と現実の区別がつかなくなる」など、子どもの健全な心の成長に影を落としてしまいます。

家庭内でのルールを設けて、時間や場面をしっかりと区切って遊ぶことが必要です。大人が子どもの前で携帯電話のゲームやメールに没頭するのも控えたいですね。

また、ゲームには暴力的なものや、性描写のあるもの、次々に相手を倒す（殺す）ようなものもありますので、「親はゲームの内容まで知らない」ではなく、購入前に内容を確認したり（対象年齢を表示するマークがついています）、一緒に遊んでみたりするのもよいかもしれません。そこから親子のコミュニケーションも広がることもあります。

ゲーム時間と生活・学力の関係

① 1日1時間以内

ゲームの時間、勉強の時間、テレビの時間とけじめがついていると思われる時間です。家族みんなで楽しみましょう！

② 1日1時間～2時間

親子の会話が少なくなりはじめます。家庭学習の時間も不規則となり、苦手教科から学力が低下していく傾向が顕著になります。

③ 1日2時間以上

生活全般にけじめがつけられなくなっています。勉強はほとんどせず、寝不足により日中はいつも疲れています。面倒臭いが口癖になっている傾向があります。

ほぼ全家庭に存在するゲーム機。家族で使い方などのルールを話し合い、上手に家族生活に取り込むことが大切です。

ゲームの年齢区分は次の5種類です。マークは下の図のようにパッケージに表示されているので確認してみましょう！

-  年齢区分対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象であることを表示しています。
-  12歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
-  15歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
-  17歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
-  18歳以上のみを対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
(18歳未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)

ちょこっと サークル紹介

このコーナーでは、町内で活動している文化サークルを紹介しています！活動場所は様々ですが、何か趣味や生きがいを見つけようとしている方は、ぜひ参考にしてください！今月の団体さんは「太極拳サークル」さんです。

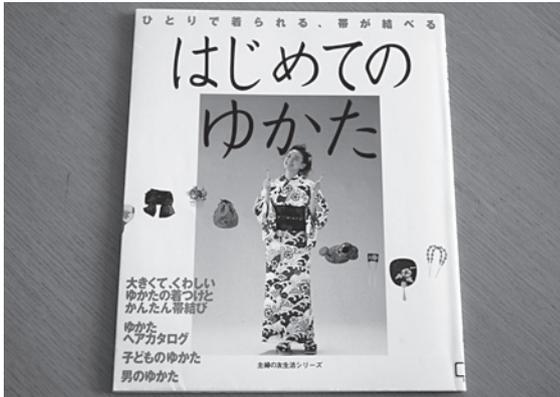
太極拳サークル

太極拳サークルさんは、健康づくりを目的に活動されている団体で、毎週ゆめつくるで活動しています。太極拳は、ゆっくりした動作で行うので、下半身を中心に無理なく鍛えることができ、体感も鍛えることから、体のバランスが良くなるというメリットがあります。現在会員は8名で活動しており、随時会員募集中です。活動日は毎週火曜日の午後6時30分から午後8時です。誰でも気軽に始められますので、はじめてみませんか？



連絡先：渡部順子 35-2827

司書のイチカン! 『はじめてのゆかた』



8月に入りました。もう少しで、夜高あんどん祭りがやって来ますね。

そこで、今回はお祭りにぴったりの本を紹介します。

お祭りでは、どんな服装をしますか？ 普段着という方もいるかもしれませんが、浴衣を着る方も多いのではないのでしょうか。

お祭りのとき浴衣を着ると、なんだかワクワクしてきますよね。でも、浴衣ってどう着るのかわからないという方もいると思います。実は一人でも簡単に着ることができるんです。

今回、紹介する本は一人でも簡単に浴衣を着ることができるようになる本です。着つけの方法がカラーで紹介されていて、注意する点もついているので、着つけ初心者さんにぴったりの本となっています。

また、帯結びも基本のリボン結びから都結び、うさぎ結びなど様々な結び方が紹介されています。そして、浴衣には欠かせない下駄や小物の紹介もあり、充実した内容です。女の子と男の子の浴衣の着つけ方も詳しく載っているので、お子さんがいる家庭にもオススメです。

この夏、ぜひ浴衣で出かけてみませんか。図書館には、浴衣の着つけが載っている本の他にも、浴衣のコーディネートや小物などが載っている本があります。ぜひ、参考にしてください。

新刊図書

《一般書》

- 「のぼうの城」 作者：和田 竜
- 「アマダサマ」 作者：沼田まほかる
- 「夢違」 作者：恩田 陸
- 「スープカレー」 作者：高橋美夕紀
- 「ドS刑事 1・2」 作者：七尾 与史
- 「相田家のグッドバイ」 作者：森 博嗣
- 「リラックマ四クママンガ 1・2」 作者：コンドウアキ
- 「がんばれ！ニッポンの商店街」 全国商店街を巡る会
- 「うふふな日々」 作者：あさのあつこ
- 「雲の回廊」 作者：HABU

《児童書》

- 「しんかんくんうちにくる」 作者：のぶみ
- 「ようちえんがばけますよ」 作者：西村 繁男
- 「よろしくともだち」 作者：降矢 なな
- 「うそついちゃったねずみくん」 作者：上野 紀子
- 「こども大図鑑宇宙」 作者：キャロル・ストット
- 「野菜をそだてる 12 か月」 作者：亀田 龍吉

新刊図書おすすめ!!

『母の遺産—新聞小説—』 水村 美苗



若い女と同棲している夫がいて、その夫とのことを考えねばならないのに、母は死なない…。親の介護、姉妹の確執。離婚を迷う女は一人旅へ。著者自身の体験を交えて描く長篇小説。『読売新聞』連載を単行本化。

『K』 葵 柚子葉



恋人の慶太と別れてしまった女子高生・香澄。落ち込む香澄の元に差出人不明のメールが届く。相手は「K」とだけ名乗った一。真実を基にしたケータイ小説。

『あなた』 絵：長 新太 文：谷川 俊太郎



「わたし」はひとりですが、たくさんの「あなた」に出会います。社会は、ひとりの「わたし」と、たくさんの「あなた」の集まりです。詩的な言葉とユーモラスな絵で、人間の本質的な疑問に答えます。

トマトジュース缶のリニューアルに合わせて

ゆめっくるでトマトに関するパネルの展示



今年の8月から町の特産品トマトジュース「北のほたる」の缶がリニューアルするのに合わせて、町生涯学習総合センターゆめっくるでトマトに関するパネルが展示されました。

この展示パネルを作成したのは、町図書館に勤務する菊池詩織司書。

菊池司書はパネルを作成するために、トマトジュースを作っている町農産加工場の嶋田英樹農場長や、ジュースの原料となる「なつのしゅん」という品種のトマトを生産している農家の絵内勝己さんなどにインタビューを行い、パネルを完成させました。

ゆめっくるのハントホールには「夏のトマトは美味しい!」や「トマトがくれる栄養」など、模造紙に菊池司書が手書きした物が展示されています。

パネル展示の他にも、町食生活改善協議会が考案した「トマトジュースを使用したレシピ」が紹介されていたり、「トマト力(りょく)」などトマトに関する本が6冊ほど新刊として図書館に入りました。

このパネル展示は、8月中旬までゆめっくるで展示される予定です。

今月号の赤ちゃんです。すくすく育ててね!

善方 駿斗くん (長男)
6月20日生まれ



お父さん 貴志
お母さん 美佳

(市内7)

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
藤本ヨシコさん	7月 3日	93歳	沼田3
古田 シゲさん	7月 15日	97歳	仲町西
中野レエ子さん	7月 23日	79歳	市内7
鈴木 幸雄さん	7月 27日	63歳	市1南
中野テツヨ子さん	7月 29日	74歳	旭町西
石川 勝重さん	7月 30日	80歳	高穂2
中山 信二さん	7月 30日	91歳	市内5

人の動き

人口 **3,535**人 (前月比△9人)
 (男性 1,664人 女性 1,871人)
65歳以上 1,285人 (高齢化率36.4%)
世帯数 1,618戸 (前月比 △5戸)
 ○総人口増減内訳
 増加…転入: 3人 出生: 3人
 減少…転出: 5人 死亡: 10人
 (平成24年7月31日現在)

交通事故死ゼロ

23日

継続中!

(平成24年8月1日現在)

7月8日にバイクによる単独死亡事故があり、交通事故死ゼロの記録は「4,758日」でストップしてしまいました。

二〇二二年八月九日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
 まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 亀谷・小川 電話〇一六四―三五―二二二一